

アキュラシー

ディスリート・ファイブ (5m)、ディスリート・セブン (7m)

ディスリート・スリー (3m) (オープン競技)

「アキュラシー」は、^{せいかくせい きそ きょうぎ}正確性を競う競技です。

「アキュラシーゴール」めがけてディスクを10投し、^{とう なんとうはい きそ}何投入ったかを競います。

- (1) アキュラシーゴール (標的) ^{ひょうてき}は、直径 (内径) ^{ちようけい ないけい}0.915mの円形で、円形の下部は、^{じゆん}地面から0.61mをゴールの高さとする。設置は追い風を基本とする。^{たか}
- (2) プレーヤーは10回連投して試技を行い、^{かいはんとう しぎ おこな}得点はディスクが地面に^{とくてん}触れず、^{じゆん ふ}直接アキュラシーゴール (標的) ^{ちやくせつ}を通過した回数とする。^{ひょうてき つうか かいすう}
- (3) プレーヤーが視覚障がい者の場合、^{しかくしょう しゃ ばあい}アキュラシーゴールの中心を音源で知らせることが^{ちゆうしん おんげん し}できる。
- (4) 得点^{とくてん おな}が同じであった場合、10回 (投) ^{ばあい かい とう}の通過過程において、第1得点^{つうか かに}を先に取得^{だい とくてん さき しゅとく}した者が上位となる。第1得点^{だい}が同じであれば、第2、第3となる。^{だい}
- (5) 得点^{とくてんおよ}及び通過^{つうか}も同じであった場合、上位3名の決定^{おな ばあい しょうい めい けってい}にあたっては3回 (投) ^{かい とう}の再スローイング (再投) ^{さいとう}によって順位^{じゆんい}を決定し、4位以下は同順位とする。^{いいか どうじゆんい}
- (6) プレーヤーがスローイングライン (足留材) ^{あしどめざい}の上部または外側の地面^{じょうぶ そとがわ じゆん ふ}に触れたときは無効^{むこう}とする。無効^{むこう}となったスローイングは、1回^{かい}として数えるが、ディスクが^{かぞ}通過^{つうか}しても得点^{とくてん}とならない。